

甲 庄田の佐ノ村本
門前ほかで。前夜祭は
◇4月9日まで、松江
い合わせは総務省島根

第36回声に出して読
O・新田さん(電話0
デモクラTV公開収
933・871)へ。

尼子氏と尼子十旗

くにびき、24旗の会

(2)

題字 藤岡大拙

次回からの10城の紹介に先立ち、尼子氏の系譜を紹介する。

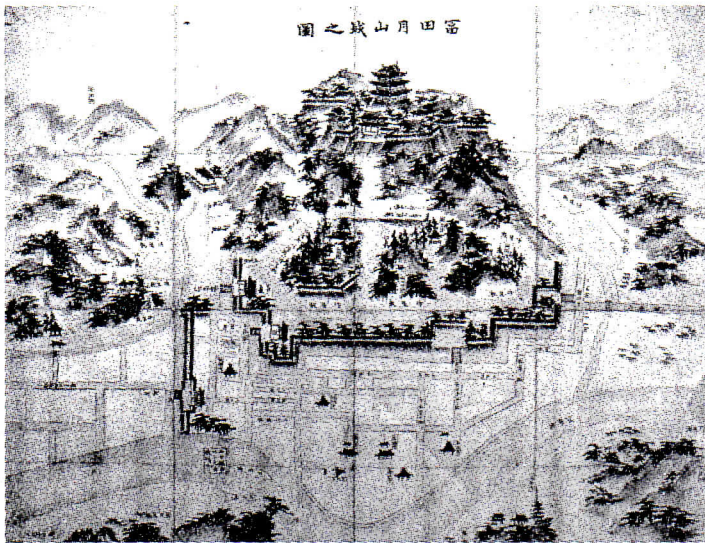
■尼子10旗

「雲陽軍實記」※に、「惣じて尼子旗下にいて祿の第一は白鹿、第二は三沢、第三は三刀屋、第四は赤穴、第五は牛尾、第六は高瀬、第七は神西、第八は熊野、第九は真木、第十は大西なり、これを出雲一國の十旗と云つてある。10旗とは、尼子の旗下10家10城を指し、有力な家臣であるとともに、その城は富田城防衛体制の重要拠点となっている。但し、10旗の制は確実な史料には見当たらない。

■尼子持久(もちひさ)

尼子氏は、現在の安来

富田山月城



「富田山月城之図」
安来市教育委員会提供

市広瀬町の月山富田城に覇を唱えた、初期戦国を本拠とし、16世紀の初 大名の代表的存在。京めぐりの山陰、山陽2道 極道響(ごうご)の孫高

久が、与えられた近江犬上郡尼子郷を名乗って尼子と称し、その子の持久が、伯父である守護京極高詮(たかのり)の代官として出雲に下り、富田城に依って出雲尼子の祖になったと言つた。

■尼子清貞

1478(応仁元)年からの「応仁の乱」の中、持久之子、清貞は富田城において京極氏の忠実な守護代でありつ、出雲東部の国人層を抑え、美保関での関銭徴収を委託され、次第に経済力をつけて勢力を増大させていった。

■尼子経久(つねひさ)

清貞の嫡子経久が守護代になったのは1478(文明10)年ごろ。応仁の乱後の混乱に乗り、幕府御料所美保関の関銭徴収を怠り、社寺領を押し、守護段銭の徴収を拒否することで、戦国大名への道を歩もつとした。

■富田城の落城

富田城は、1554(天文23)年に、晴久が毛利の謀略により「新宮党」

花まつり
◇4月8日までの午前8時半から午後5時、一畑薬師で。花御堂にまつられた誕生仏に甘茶をかけ祝つ。

一畑薬師週末坐禅会

◇4月8日の午後7時半から9時半、一畑薬師観音堂で。会費300円、茶礼あり。指導は一畑薬師管長。要予約、初心者歓迎。申し込みは電話0853・67・0111

一畑薬師「よつかさん」眼病平癒・諸病

平癒特別祈願祭
◇4月8日午前11時から午後0時半、一畑薬師で。

スポーツ吹矢出雲

縁支部体験会&練習会
◇4月10日午後1時から5時、国富コミュニティセンターで。参加費300円、マウスピース代100円。問い合わせは事務局(電話0990・11899・11998)へ。

ミネハハコンサート

要、

日替わり連載コーナー

◇月曜日は島根県立図書館の「おすすすめ新着本」紹介 ◇火曜日は石飛榮一さんの「戦後70年 今、伝えたい」と ◇水曜日は「学芸員日記」を隔週で ◇木曜日は西尾良一さんの「故郷の『学校の木』巡り」 ◇金曜日はくにびき24旗の会の「尼子氏」